

インプラント周囲病変のリスクを回避するには？ 歯周治療後の天然歯の予後は？
日常臨床のさまざまな問題点をエビデンスに基づいて答える1冊



POSTGRADUATE PROGRAM
IN CLINICAL PERIODONTOLOGY

コレクテッド エビデンス
vol.3 ~症例集~

弘岡秀明

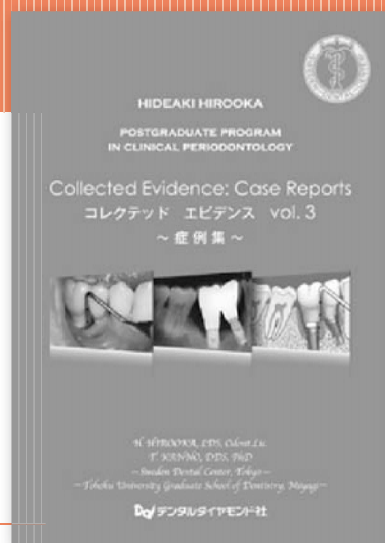
東京都・スウェーデンデンタルセンター(開業)
東北大学大学院 歯学研究科口腔修復学講座 咬合機能再建学分野 臨床教授

菅野太郎

東北大学大学院 歯学研究科口腔修復学講座 咬合機能再建学分野 助教

治療計画はエビデンスに基づいて
立てられるべきである

治療計画はエビデンスに基づいて立てられるべきである。本書では5つの症例を取り上げ、エビデンスに基づいてどのように治療計画を立てて治療実践したか、長期予後はどうであったかを紹介。さらに、ケースごとの治療途中で遭遇する問題点を“Clinical Discussion Point”として取り上げ、vol.1、vol.2で掲載したエビデンスを基に論じて解決し、治療方法の選択過程を、歯周治療、インプラント治療、歯周補綴に焦点をあてて解説。今回のvol.3ではインプラント周囲病変に関するエビデンスを追補として掲載。



A4判・212頁・オールカラー 定価(本体10,000円+税)

CASE 1 非外科処置(Non-surgical therapy)

Clinical Discussion Point ●非外科処置(SRP)の正当性とその効果は？ 他

CASE 2 抗菌療法と矯正治療
(Antibiotic therapy & Orthodontic therapy)

Clinical Discussion Point ●ケミカルプラークコントロール/抗菌薬は効くのか？
●歯周病患者への矯正治療

CASE 3 歯周組織再生療法と歯周補綴
(Regenerative therapy & Perio-prosthesis)

Clinical Discussion Point ●歯周治療後の天然歯の予後 ●エムドゲインの適応
●歯周病患者への固定性補綴治療の正当性

CASE 4 根分岐部病変と固定(Furcation involvement & Splint)

Clinical Discussion Point ●非外科処置の限界について
●外科の原則について ●分岐部病変を整理する

CASE 5 歯周インプラント補綴(Perio-implant-Prosthesis)

Clinical Discussion Point ●歯周病患者へのインプラント治療
●埋入時のスレッドの露出 他

Appendix インプラント周囲病変(Peri-implant disease)

Clinical Discussion Point ●インプラント周囲病変の定義とは？ 他

追補 Evidence

●15.Peri-implant disease-2